

## 第6章 高齢者福祉事業の取組み

### 1. 高齢者の生きがいがづくり支援事業

#### (1) 生きがい対応デイサービス事業

生きがい対応デイサービス事業については、虚弱高齢者の心身機能の維持向上、社会的孤立感の解消とともに、生きがい活動支援のための事業と位置づけて実施します。

地域によってサービス内容や利用者数に偏りがあることから、目的や対象者が重なる介護予防・日常生活支援総合事業の通所型サービスや地域の集いの場で介護予防活動を行うミニデイサービスに集約するなど、事業間の調整を行うことで地域の偏り解消と高齢者の心身機能の維持向上等に努めます。

◆図表6-1 生きがいデイサービス事業利用見込み◆

	平成30年度	平成31年度	平成32年度
利用見込者数	3,230人	3,160人	3,100人

#### (2) 老人クラブの育成

老人クラブ活動に対し事業費の一部を助成し、高齢者が地域で生き生きと活動できるよう支援していきます。

老人クラブは、高齢者の孤立感の解消や社会奉仕活動の普及など一定の役割を果たしてきましたが、ライフスタイルの多様化や就労期間の延長等から、会員数は伸び悩み、休止する単位クラブも増加しています。

高齢者のニーズにあった活動メニューの展開や入会しやすい環境づくりを支援し、老人クラブ活動を促進していきます。

◆図表6-2 老人クラブ数、会員数見込み◆

	平成30年度	平成31年度	平成32年度
老人クラブ数	146クラブ	146クラブ	146クラブ
会員数	6,176人	6,176人	6,176人

## 2. 高齢者の生活を支援する事業

### (1) 高齢者福祉サービス事業

#### ①外出支援サービス事業

在宅での歩行が困難な高齢者や障害者で公共交通機関の利用が困難な方に、通院や社会参加のための移動手段を確保する事業で、通院など医療機関を利用する場合は月4回までの利用を可能としています。

その他社会参加などに利用され、利用者数は増加傾向にあり、利便性の向上を図るとともに、住民への事業周知と利用者への円滑なサービスの提供に努めます。

◆図表6-3 外出支援サービス事業利用登録見込み◆

	平成30年度	平成31年度	平成32年度
利用見込者数	380人	390人	400人

#### ②軽度生活援助サービス事業

在宅のひとり暮らし高齢者や高齢者世帯への簡易な日常生活上の援助を行う事業です。

利用登録者は多くはないものの、ひとり暮らし高齢者等が在宅での生活を継続するために必要な支援であり、住民への事業周知と利用者への円滑なサービスの提供に努めます。

◆図表6-4 軽度生活援助サービス事業利用登録見込み◆

	平成30年度	平成31年度	平成32年度
利用見込者数	165人	175人	185人

#### ③配食サービス事業

食事の調理が困難な在宅のひとり暮らし高齢者や高齢者世帯に対し、栄養バランスの取れた食事を提供する事業です。

配食サービス事業については、支援を必要とする高齢者にとってより良いサービスとするため、利用回数や運営方法などの事業見直しに取組みながら、高齢者を見守る体制を維持したサービス提供に努めます。

◆図表6-5 配食サービス事業利用登録見込み◆

	平成30年度	平成31年度	平成32年度
利用見込者数	370人	380人	390人
配食数	27,600食	30,300食	33,300食

#### ④ひとり暮らし老人等緊急通報システム事業

在宅のひとり暮らし高齢者等に対し、緊急通報装置を貸与し、急病等の緊急事態に迅速な対応ができる体制を整備する事業です。

これまでのスムーズな送受信体制を維持し、民生委員児童委員や近隣の協力員等による連携を強化し、見守り体制を整えていきます。

また、システムの設置推進に努めるとともに、設置者へシステムの利用方法の周知を図り、緊急時に適切に対応できる体制づくりを進めます。

◆図表6-6 ひとり暮らし老人等緊急通報システム事業利用見込み◆

	平成30年度	平成31年度	平成32年度
利用見込者数	335人	335人	335人

## (2) 施設サービス事業（介護保険事業以外）

### ①養護老人ホーム

養護老人ホームは、おおむね65歳以上の高齢者で、経済や環境上の問題で、自宅での生活が困難な方が入所し、社会復帰の促進、自立のために必要な指導及び訓練、その他の援助を行うことによって、入所者が自立した生活を送ることができるよう支援する施設です。また、介護サービスである特定施設入居者生活介護サービスを入居者へ提供することが可能です。

市内には民設民営で設置運営されている養護老人ホームきたかみ園があります。入所を必要とする高齢者には適切に対応していきます。

### ②生活支援ハウス

生活支援ハウスは、60歳以上のひとり暮らし又は夫婦のみの世帯で、高齢等のため独立して生活することに不安のある方が入居できる施設で、生きがい活動や地域交流ができるよう支援します。

市内には1施設あり、今後も家庭の事情等により施設利用が必要な場合には、快適な生活ができるよう施設サービスの提供に努めます。

◆図表6-7 生活支援ハウス利用見込み◆

	平成30年度	平成31年度	平成32年度
利 用 人 数	16人	16人	16人
延 べ 日 数	2,380日	2,650日	2,960日

### (3) その他の福祉事業

#### ①敬老祝金

本市に居住する高齢者（90歳、95歳及び99歳以上の方）に対し、敬老祝金を支給するものです。敬老の意を表すために制度を維持できるよう努めます。

◆図表6-8 敬老祝金支給見込み◆

	平成30年度	平成31年度	平成32年度
対 象 者	790人	830人	860人
支 給 額	22,000,000円	23,100,000円	24,200,000円

#### ②敬老行事補助金

行政区等や特別養護老人ホーム等で敬老会などを開催した場合に、実施者に対し敬老行事補助金として、高齢者一人当たり2,000円を補助するものです。

敬老行事は地域に密着した行事として実施されておりますが、時代とともに地域環境も変化していますので、地域の実情に応じた見直しを行いながら、今後も、地域のアイデアと工夫により、地域に密着した行事として継続して取組んでもらえるよう努めます。

◆図表6-9 敬老行事補助金支給見込み◆

	平成30年度	平成31年度	平成32年度
対 象 者	12,980人	12,560人	12,160人
支 給 額	25,960,000円	25,120,000円	24,320,000円

### ③家族介護用品の支給

在宅で寝たきり高齢者等を抱える家族に対し、紙おむつ等の介護用品を支給する事業です。本来の目的を踏まえて事業内容を見直しながら、引き続き事業の継続を図ることにより、家族の精神的、経済的負担を軽減できるよう努めます。

◆図表6-10 家族介護用品の支給見込み◆

	平成30年度	平成31年度	平成32年度
対 象 者	3,350人	3,490人	3,630人
支 給 額	71,400,000円	74,600,000円	77,900,000円

### ④介護家族支援レスパイト事業

家族介護者が、緊急の事由等で介護できなくなった場合、家族に代わり施設において一時的に介護する事業です。

介護認定者については、短期入所施設（ショートステイ）の利用ができることから、家族介護者から本事業の利用希望は少ない状況ですが、虐待など緊急の事由等による利用が増加傾向にありますので、利用希望者への迅速なサービス提供に努めます。

◆図表6-11 介護家族支援レスパイト事業利用見込み◆

	平成30年度	平成31年度	平成32年度
利 用 件 数	12件	14件	16件
利 用 日 数	240日	280日	320日